

2023年4月28日

チクングニア熱のウルグアイ国内における感染例の発生

- ウルグアイでこれまで確認されていなかったチクングニア熱の国内感染例が初めて報告されました。
- 今後感染例の増加や感染エリアの拡大が危惧されることから、原因となる蚊への予防対策を心がけてください。

当地報道機関（EL PAIS、La República等）によって報じられているとおり、当国厚生省（Ministerio de Salud Pública：MSP）の発表として、先週末から今週にかけて、当地におけるチクングニア熱の感染者がパイサンドゥ県やサルト県で31例確認されました。そのうち、これまでも発症例のある輸入感染は17例である一方、新たに国内で感染したと疑われる症例が14例含まれています。チクングニア熱は、ネッタイシマカやヒトスジシマカによってウイルスが運ばれることによってヒトが感染するウイルス性疾患ですが、ウルグアイにおいてはこれまで輸入感染例のみが確認されており、国内感染例は初めての報告となります。今後さらに感染例が増えることや、感染者が発生するエリアが拡大することが危惧されることから、当地に居住されている方や旅行者は、以下の予防対策を参考に十分に注意してください。

蚊の発生場所にできるだけ近づかないようにするほか、蚊は水がよどんだ場所など幼虫が孵化できる場所を見つけて卵を産む性質があるため、生活環境の中で蚊の発生原因となり得るバケツ、タイヤ、花瓶などに水が溜まらないようにするように気をつけ、防虫剤等で予防に努めるようにして下さい。

チクングニア熱については、下記の厚生労働省検疫所の情報を参考として下さい。

「感染症についての情報：チクングニア熱 Chikungunya Fever」

<https://www.forth.go.jp/useful/infectious/name/name32.html>

<在ウルグアイ日本国大使館ホームページ(領事情報)>

https://www.uy.emb-japan.go.jp/itpr_ja/ryoji.html

★外務省海外安全ホームページでは、海外における安全対策としての注意事項をまとめた各種資料を公開していますので、皆様の海外安全対策にお役立てください。

<ゴルゴ 13 の中堅・中小企業向け海外安全対策マニュアル>

https://www.anzen.mofa.go.jp/anzen_info/golgo13xgaimusho.html

<海外安全 虎の巻>

<https://www.anzen.mofa.go.jp/pamph/pdf/toranomaki.pdf>

<海外赴任者のための安全対策小読本>

https://www.anzen.mofa.go.jp/pamph/pdf/pamph_08.pdf

<海外における脅迫・誘拐対策 Q&A>

https://www.anzen.mofa.go.jp/pamph/pdf/pamph_04.pdf

★万が一、犯罪被害に遭われた際は、当館領事班までご連絡ください。

★転居・帰国・家族構成の変更等により在留届の記載事項に変更があった場合は、インターネット(<https://www.ezairyu.mofa.go.jp/RRnet/index.html>)で変更の手続きをしていただくか、変更届をFAX、郵送またはスキャンデータのメール送信にて当館まで提出していただくようお願いします。

変更届フォーマット: <https://www.mx.emb-japan.go.jp/files/000180336.doc>

★日本人の安全に関わる情報等広く周知すべき情報は、在留届に登録されたメールアドレスに送信されます。その他の情報に関する大使館からのお知らせメールの受信登録、削除及びメールアドレスの変更は、次の URL からお願いします。

<https://www.ezairyu.mofa.go.jp/mailmz/menu?emb=mx>

※このメールは在留届、たびレジに登録されたメールアドレスに配信されております。

※「たびレジ」簡易登録をされた方で、メールの配信を変更・停止されたい場合は、以下の URL から停止手続きをお願いいたします。

<https://www.ezairyu.mofa.go.jp/tabireg/simple/delete>

※災害や騒乱等が発生した際、ご家族、ご友人、同僚を守るため、一人でも多くの方に安全対策に関する情報が届くよう、在留届(3 か月以上の滞在)の届出、又はたびレジ(3 か月未満の滞在)の登録を、お知り合いの方や出張者・旅行者にご案内いただけますようお願いいたします。